

コンパクトクールキット（ラバーホース）取扱説明書

製品番号	07-07-0242 (3FIN)
	07-07-0241 (4FIN)

適応車種	Z125 PRO (BR125H-A02621 ~)
	Z125 PRO (タイ仕様)
弊社ビッグスロットルボディーキット 取り付け車両	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。
- ◎弊社製ビッグスロットルボディーキット装着車用です。
オイル量は通常規定オイル量に4フィン：約60cc / 3フィン：約40cc 追加して下さい。

～特徴～

冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンポアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。
コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。取り付け場所はフレームに取り付けられたシュラウドステー兼オイルクーラーブラケットにオイルクーラー本体を固定します。オイル取り出し口はシリンダーヘッドとクランクケース間を接続しているオイルパイプを取り外し弊社製バンジョーを取り付けます。
クーラー本体は3フィン4オイルラインと、4フィン5オイルラインの2種類からお選び頂けます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- 走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。（エンジン損傷の原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	オイルクーラー ASSY. (3-FIN)	1	00-07-0055
	オイルクーラー ASSY. (4-FIN)		00-07-0008
2	バンジョーボルト M12x1.0	2	00-07-0034
3	バンジョーボルト M8x1.25	2	00-07-0099
4	バンジョー 14mm	2	00-07-0081
5	バンジョー 10mm	2	15660-000-T01
6	オイルホース 1000mm	1	00-07-0018
7	クランプバンド 8-16/9	4	00-00-0052 (2ヶ入り)
8	アルミシーリングワッシャ 10mm	4	00-07-0010 (10ヶ入り)
9	アルミシーリングワッシャ 14mm	4	00-07-0042 (5ヶ入り)
10	ボタンヘッドソケットスクリュー 6x10	2	00-00-0092 (5ヶ入り)
11	スプリングワッシャ 6mm	2	00-00-0203 (10ヶ入り)
12	プレーンワッシャ 6mm	2	00-00-0086 (10ヶ入り)
13	結束バンド	2	00-00-0135 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

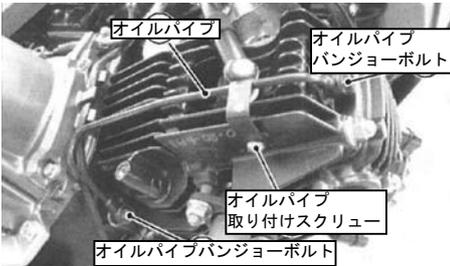
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

※作業は弊社製ビッグスロットルボディキットが取り付けられている事が前提となります。

・写真を参考に①オイルクーラー ASSY. のオイルクーラープレートを上下逆に組み替えます。

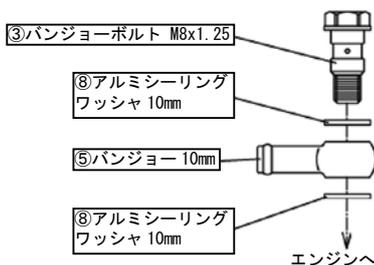


・車両を安定させた状態にし、エアフィルターキットの取り扱い説明書とサービスマニュアルを参照し、右シュラウドアンダーカウルを取り外します。
・オイル受けを用意してオイルパイプバンジョーボルト、オイルパイプ取り付けスクリュー、オイルパイプを取り外します。



・③バンジョーボルト M8x1.25 に、⑧アルミシーリングワッシャ 10mm、⑤バンジョー 10mm、⑧アルミシーリングワッシャ 10mm の順で通し、クランクケースと、シリンダーヘッドにそれぞれ仮付けします。

▲注意：クランクケース及びシリンダーヘッド側のシーリングワッシャが、バンジョーのセンターに来ている事を確認して下さい。ずれたまま締め付けると、オイル漏れの原因となります。

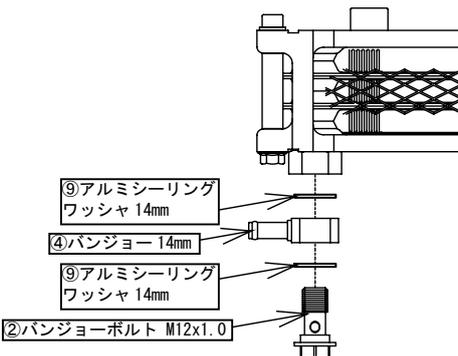


・①オイルクーラー ASSY. をシュラウドステーに取り付け、⑩ボタンヘッドスクリュー 6x10、⑪スプリングワッシャ 6mm、⑫プレーンワッシャ 6mm で取り付け締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



・オイルクーラーに④バンジョー 14mm を⑨アルミシーリングワッシャ 14mm 2枚で挟み込み、②バンジョーボルト M12x1.0 で取り付けます。



・写真を参考に⑥オイルホースを適当な長さで切断し、両端に⑦クランプバンドを通してからオイルクーラーのバンジョーとクランクケース及びシリンダーヘッドに取り付けたバンジョーに差し込みます。

※必ずオイルホースがエキゾーストパイプ、スロットルボディ等他の部品に接触しない様な取り回しで取り付けを行い、必要に応じて付属の⑬結束バンドをご使用下さい。

4-FIN 時



3-FIN 時



・取り回しが完了すれば②③バンジョーボルトを締め付けます。

▲注意：バンジョーボルト M12x1.0 の締め付けは、オイルクーラーヘッダー (6角部分) に必ずスパナ等を掛けた状態で行って下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト M8

トルク：12N・m (1.2kgf・m)

バンジョーボルト M12

トルク：22.5N・m (2.25kgf・m)

・4-FIN は 60cc、3-FIN は 40cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。

▲警告：エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

・各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。